

ECO-TOP プログラム（自然環境保全を担う「人材育成・認証制度」）

生物環境システム学科では、自然（生態系）・農業・社会の3つを柱として、自然環境保全をはじめとする様々な環境問題を多方面から体系的に理解し、問題解決に取り組むことができる人材の育成を目指しています。また、環境問題には国境がない一方、地域特有の問題（気候や自然風土・社会などの地域性）への配慮も大切となることから、本学での科目履修（講義、実習）だけでなく、海外留学プログラム（カナダ、2年次に約4ヶ月間）や学外実習地（箱根・北海道・鹿児島）での野外実習プログラムを重視しています。これらの知識・技能・経験を活かして、さまざまな社会現場での自然環境保全活動に携わったり、指導的役割を担える人材として、東京都によるECO-TOPプログラム資格を認定します。

ECO-TOP プログラムにおいて目標とする人材像

- ◆地域コミュニティにおける自然環境保全活動等の参加者、指導者
- ◆自治体・企業・NPO などにおける自然環境保全政策・計画、環境経営部門などの従事者
- ◆農林水産・畜産業従事者、生産物加工業・流通業・造園業・建設業などの企業従事者
- ◆自然公園等の管理者・レンジャー、自然観察指導員、博物館学芸員、大学や研究機関の研究者
- ◆教員（中・高理科、高校農業）、その他地域等で自然環境・生物保全の大切さを啓蒙する人

ECO-TOP プログラム受講の流れ（概要）

